

11/25 n. カミホ口 2 日目の夜。一旦上富良野駅まで降りて照井と合流。ひどい咳と微熱のため酒も飲まず就寝。ぐあいわるう～。

11/26. 快晴。カミホ口 3 日目。今日は化け物岩 OW を登るのが目的、其のためボロいスキーウェアを本日着用。昨年は偵察もした。登ればフリー 2 登目(フリー 1 登目は青山 - 中川、人工での初登は新宮氏)

ただまっすぐ化け物岩へ向かうのはただのお楽しみクライミングになりトレーニングにならず得るものも少ないので OW 用キャメロット #5, 6 を意味もなく背負って八手岩登って軽く汗を流す。いろいろあり遅くなってしまったが 1500 に化物岩 OW ルートへ取り付き。(いろいろは照井へ問い合わせを)

1 P 目 : (AI3) は氷化したルンゼをノーザイルで登る。

2 P 目 : (5 級) バンドに入り、OW が上に見えるところでロープをつける。ヘッドランプも装着。OW までのアプローチだがそこそこ楽しい。氷結してないためアイゼンでの岩登りになる。OW 直下の外傾したスタンスでピッチをきる。アンカーが取りづらかった。

3 P 目 : (夏季 5.8OW 程度の頑張り具合) もう暗い。OW はザックが少し引っかかる程度でオフィズスマンとしては特に問題なし、しかしキャメ #6 がギリギリ効かないので残念だった。持ってきた意味がなかった。ランニングはとれる。抜け口はドラツで抜ける。上部草付でビレイ。

4 P 目 : 緩傾斜をあがりロープを解く。

風の強い稜線を降りてから 2000 に下山遅れていることを岩井さんに連絡し、自分達も一安心。化け物裏の夏道下山。なかなか楽しいルートだった。

課題 : 渡邊は 2 P 目でアンカーとるのに時間がかかった。コレではイカン。体調管理も x。

照井は体力 up をフォローと危険予測、安全確認をしっかりと出来るように。

良い点 : 残置不使用。照井の溢れんばかりのモチベーション。

シーズン最初の上ホロ

冬のクライミング2シーズン目、この一年で成長できただろうか。日曜日の夜、石井のバイト後、上富良野駅へJRで向かう。昔の人は毎週末夜行列車で山に向かったのだろう。札幌から2時間半で上富良野に着いた。駅前に見慣れた車が……。ダイゾーさんの車だ。隣の屋根の付いた駐輪場に黄色いテント。シュラフにくるまったダイゾーさんが寝ていた。風邪気味らしい。自分も前日まで嘔吐していて万全ではない。ゲロゲロバー！？そのまま自分も go to sleep.

翌朝、温かい。近くのコンビニで準備を済ませ、いざ上ホロ。だんだん日が登り十勝岳まで見える。こんな天気の良い上ホロは初めてだ。天気がいいので、いつもよりテンション高め。八つ手へのアプローチ雪の下はブッシュ。ラッセルがんばる！しかし、力がでない。病み上がりはキツイね。でも、登りたいから登る。今年はビレイジャケットとオーバー手を購入。そして財布の軽量化に成功した。イける！

フォローし始める。去年よりも楽に登れる。しかし、支点の回収がスムーズではない。夏アルパインしてなかったことを悔やむ。アイゼンを使えるようになってきた事は嬉しい。バランスも出てきた。けど反省点多し。懸垂下降でも降りる方向を間違えた。危険予知が出来ていなかった。また反省。

スキーデポ地に到着後小休憩。次は化け物OW！ドキドキワクワク。ラッセル！！力がでない。情けない自分。1P目はフリーソロ。落ちる気はしない。楽しい。2P目から本番。次第に暗くなりヘッドランプをつける。夜間登攀もいい経験。海外の練習。3P目核心。OW内はあまり難しくなかったが、OW抜け口は微妙なバランスで登った。難しい。ダイゾーさんは凄い！自分にはまだ遠いOWリード。4P目傾斜の緩い所を登る。この時、ハンガーノックになっていた。燃費悪い自分ww頭も体もスローリー。ダイゾーさんにまたしても迷惑をかける。その後無事下山。疲れたけど改善点と目標ができていい山行だった。

ダイゾーさんも体調の悪い状態での登攀だった。だけど、あの登り。ベストコンディションでなくてもハイパフォーマンスをするのがクライマーなんだなと感じた。

また、自分は山で人に頼っていると思う。次回の山では、自分で考えて登るようにする。簡単なルートでいいからもっと自分で登る意識を大切にしたい。シーズンは始まったばかり。がんばります。